

平和の懇談会「考えてみませんか、平和について～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？」を開催しました！

10月6日(水)に千葉県生協連の主催による平和の懇談会「考えてみませんか、平和について～私が考える平和、あなたが考える平和、平和ってなに？～」が開催され、26名が参加しました。

本企画は、長崎大学核兵器禁止廃絶研究センター特任研究員の林田光弘さんと、千葉県原爆被爆者友愛会会長で、日本原水爆被害者団体協議会事務局長の児玉三智子さん、年齢差55歳のおふたりによるトークセッション形式で進行しました。



林田光弘さん

戦争を振り返る／被爆証言を聞くパートでは、被爆者が強く訴えてきた核兵器廃絶と戦争をくりかえさないという活動について、なぜ戦争がおこり、原爆が投下されたのかという歴史の流れや社会状況、また被爆者の方々が社会に置かれていた状況などの説明の後、改めて児玉さんから被爆証言をお聞きしました。核軍縮についてのパート

では、今年初めに発効された核兵器禁止条約が今までの核軍縮の議論との大きな違いや、児玉さんが世界中で訴え続けた活動の中で印象に残った国の話、また世界の核事情などの説明がありました。

休憩後は「あなたにとっての平和とは」「平和について多くの人に考えてもらうためには？」という2つのテーマについてグループに分かれて交流しました。

最後に林田さんからは「世界の人と友達になることが平和につながるという意見がありましたが、SNSを駆使して違う国の人々の遊びや食事などの普通の生活を知ること、意外と平和につながる大事な行為かなと思います。」また児玉さんからは「皆さんと平和について対話をしたいと思っています。」とメッセージをいただきました。



児玉三智子さん

参加者アンケートから(一部抜粋)

- ・ 戦争と平和について考える上で、体験談はとても大切だと思いますが、今日はさらに日本が戦争に至った背景(法律や人を鼓舞した出来事)を知ることが戦争と平和を理解することにつながるというお話を聞くことができ、今までとは違った視点を持つことができました。
- ・ 戦争やその背景にあるもの今何が問題なのかなどを被爆体験者の方のお話しと共にわかりやすく聞けた。セッションだったので、一方的に聞くだけでなく、一緒に考えながら話が聞けた。
- ・ 時間が経つのがあっという間でした。たくさんのことを頭と心の両面から考えた、本当に充実した時間でした。我が子に、そして、たくさんの方に聞いてもらいたいと思いました。
- ・ 全員がもっともっと聴きたい、聴き足りないと言っていたのが印象的でした。そして、「この議論の必要が無くなるのが平和ってことだと思う。」っとおっしゃっていた方の一言に、なるほどと思いました。「平和の対義語は戦争では無い。」っとおっしゃっていた方の一言にも、考えさせられるものがありました
- ・ 林田さんから、暮らしを守る生協の取り組みが、平和を守ることとお話し頂きました。組合員に伝えたいと思いました。
- ・ この様な企画は何度もやって欲しい。同じ千葉県内の生協が協力して地域づくりに貢献できたら良いと思うし、大きいことが出来るのではないかと思う。
- ・ 林田さんや児玉さんのお話はとても印象的でしたが、時間が短いと思いました。



参加されたみなさん

以上